

事業所名

キッズガーデンこもれび

支援プログラム

作成日

2024年

4月

1日

法人（事業所）理念		一人一人が尊重される社会を目指す。								
支援方針		児童一人一人の特徴・傾向をとらえ、最適な療育を目指します。 児童、ご家族にしっかりと向き合い、共に成長してゆく視点を忘れません。 常に学び、専門性を向上させる努力を続けます。 ご家族が気軽に話せる良き相談者としてあり続けます。								
営業時間		15時	00分	から	19時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	保護者との連携・共有は必要に応じて適時行い、健康面（疾患、アレルギー等）や発達外来等の医療面についての相談を行う。 児童一人ひとりの成長段階や発達状況、またその傾向などを的確に把握し、その時々に応じた関り、支援を提供する。								
	運動・感覚	軽運動含む活動を通じて、本人の身体感覚の成長を促すとともに動きの得意不得意を把握し、保護者と共有を行う。必要に応じて今後の対応や助言などの相談・支援を行ってゆく。 運動機能面を把握するとともに、他者との関りや集団内での動き（役割）についても把握しながらコミュニケーションの成長にも繋がる領域も同時に支援してゆく。								
	認知・行動	学習活動の支援を通じて、本人の物事を考える力を養い、苦しい物事にも取り組んでいく意識を伸ばせるように支援を行う。 本人自身が自分の周りのことを考える機会を保持し、内容について客観的に評価しながら共に考えてゆく事でより良い選択、成長に繋げられるように支援を行う。 集団での活動を通じ、本人の状況や感覚を見極め、周囲の状況に適切に力を出せるように支援を行う。								
	言語 コミュニケーション	活動内における他児童や職員との関りを通じて、適切な自己発信を促せるように声掛けや促しと適切な評価を行い、円滑なコミュニケーションの獲得、向上が出来る様に支援を行う。 楽しく活動に参加できる環境を作る事で、自己発信の意欲を高め、自分の気持ち、考えなどを他者に伝えようとする意識の成長を促す。 他者からの関りを受け止めることが出来、そのことにより対応、対処してゆくかを共に考え、その経験を元に円滑な人間関係や社会性の向上を見据えて支援を行う。								
	人間関係 社会性	他者との関りについて、適切に自己発信でき、他者からの関りを適切に受け止める力の成長を促せるように活動内において関わりながら支援を構築してゆく。 年齢や学年、本人自身の発達段階や傾向を総合的に把握し、その時点に応じた人間関係の構築を支援し、成長に伴う社会性の獲得を促せるように関わってゆく。								
家族支援		普段の利用時のフィードバックをはじめ、対面での面談、電話、ラインやメール等での相談は常時受付、対応。 子育てに関する相談（成長や疾患、発達傾向等）や学校、学童、医療機関等他機関での出来事（課題、問題、関わり方）などに関する相談、助言を行う。				移行支援		学期の進捗や学年の変わり目、進級時期をはじめ、必要に応じて適宜関係機関と連携を取りながら、本人及び保護者の支援を行う。		
地域支援・地域連携		必要に応じ、支援機関との連携会議、支援会議への参加。学校での保護者面談への同席等を行っている。 自治体の連携会議等に参加し、地域の状況等について共有している。				職員の質の向上		業務の振り返り、個別ケースの今後の予測等を含めた支援内容の検討、構築を毎日行っている。 内部研修（事例検討、支援の振り返り）は随時。外部研修の奨励。		
主な行事等		夏祭り（児童も準備に参加できる様に工夫し、みんなで作り上げることを主眼） 季節イベント（クリスマス、正月、七夕等適時）								